

デジタル化事例集のご案内



2018年11月 システム企画研修株式会社

皆様のお会社でも「デジタル化」が大きな経営課題になっておられることと存じます。弊社では、そのデジタル化の検討のお役に立つ事例集を作成いたしております。以下ご検討の上、是非ご発注いただけますようお願い申し上げます。

1. 当事例集のご利用目的 (Why) 「この事例集は何の役に立つのか」

(1) デジタル化のアイデアのヒントを得ていただきます。

- ❖ 業務をご担当の方は、「こういうことがデジタル化でできるのではないかな」というアイデアはお持ちです。
- ❖ しかしそのアイデア以外にも、さらに有効なアイデアがあるかもしれないのです。
- ❖ 他社の先行事例をご研究いただくと、そこからヒントを得て御社ならではの先行事例とは別のアイデアが出るのが期待できます。
- ❖ デジタル化にはその種類があります。
「デジタル化システムの類型」(表2参照)も、アイデア出しの参考になります。

(2) デジタル化システムの類型・事例を学んでいただきます。

- ❖ これからデジタル化に取り組もうという方々が、「世の中にはどのような事例があるのだろうか」の基礎知識を得ていただくことができます。
- ❖ デジタル化を検討する際の思考フレームとしていただくことができます。
当デジタル化事例集のヘッダ項目がそのフレームになります。
例えば、利用者は個人か法人か。どのプロセスを支援するのか、です。
- ❖ 開発の先行モデルを研究される手がかりとしていただきます。
「この領域ではどんな先行モデルがあるのだろうか」を見ることができます。



2. 当事例集の内容 (What)

- ❖ 収集した事例情報を表1の項目で分類し表形式で提示しています。【表1・3参照】
- ❖ 合計150案件が収録されています。
- ❖ 内容がほぼ同じで、実施主体が異なるものも含まれています。
- ❖ 事例の詳細(ソース)が、一覧表の項番部分から検索可能です。

4. 当事例集の収録方針 (How)

- ❖ 上記の利用目的からしますと、その事例が実際に実現したのかどうか、成功したのかどうか、新しいのか古いのか、はあまり重要ではありません。
- ❖ 当事例集は、そういう点に関しては不問で収録しています。
- ❖ 失敗したアイデアを改善して成功させればよいという考え方はです。

5. 当事例集の作成者 (Who)

- ❖ システム企画研修(株)の事例集編集チーム

3. 当事例集の対象範囲 (Where)

(1) 主な出典

1) 「攻めのIT経営銘柄」	● 2015年版、2018年版 ● 経済産業省ホームページ
2) 日本経済新聞	● 2013年2月～現在
3) 日経コンピュータ誌	● 2015年～2018年
4) 「コンテクストの時代」	● ロバート・スコープル/シェル・イスラエル著 ● 2014年(訳本は2014年9月)出版 ● 当書の出版は4年前ですが、未だに新情報としての有効性を持っています。
5) 「ITロードマップ」	● 野村総合研究所編著、2015年版

(2) 対象としたデジタル化の利用技術

- ❖ この事例集で対象とした技術は【表1】の「適用技術」です。

6. 当事例集の提供料金 (How Much)

- ❖ 単体ご提供料金：10万円(消費税別)
- ❖ 納品当月支払いの場合は10%引き：9万円(消費税別)です。



表1 事業創造事例集の表示項目

▶ この資料の利用目的からして、各案件の該当表示項目は必ずしも厳密・正確ではない可能性があります。

表示大項目	表示項目	内容
案件名		<ul style="list-style-type: none"> 正式な案件名がない場合は適当に表示した。
実施主体		<ul style="list-style-type: none"> 法人、研究機関、大学など、その案件の実施者を示す。
事業創造パターン	新ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> 新しいビジネスを創造している場合を示す（予定を含む）。
	新ビジネスモデル	<ul style="list-style-type: none"> 既存のビジネスの新しい展開方法を創造している場合を示す。
対象事業	建設・工事	<ul style="list-style-type: none"> 建設事業または各種工事を示す。
	製造	<ul style="list-style-type: none"> 各種製造を示す。製造現場の改善に限定しない。
	流通販売	<ul style="list-style-type: none"> 流通または販売を示す。
	サービス	<ul style="list-style-type: none"> 各種サービス提供を示す。
	金融	<ul style="list-style-type: none"> 金融サービスを示す。
	公共	<ul style="list-style-type: none"> 公共事業を示す。
	生活遊び	<ul style="list-style-type: none"> 個人の生活の改善領域または遊び・楽しみ提供の領域を示す。
	健康	<ul style="list-style-type: none"> 個人の健康管理または健康増進領域を示す。
	介護医療	<ul style="list-style-type: none"> 介護または医療の領域を示す。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 各種ICT活用ビジネスのインフラ提供などの領域を示す。 	
利用者	法人	<ul style="list-style-type: none"> 当該システムの利用者が法人であることを示す。
	個人	<ul style="list-style-type: none"> 当該システムの最終利用者が個人であることを示す。
対象プロセス	企画管理	<ul style="list-style-type: none"> 改革対象の機能が企画・計画または管理・コントロールのプロセスであることを示す。
	現状把握	<ul style="list-style-type: none"> 改革対象の機能が現状を把握するプロセスであることを示す。
	判断	<ul style="list-style-type: none"> 改革対象の機能が与えられたデータに基づき判断するプロセスであることを示す。
	処置	<ul style="list-style-type: none"> 改革対象の機能が判断に基づき何らかの処置を行うプロセスであることを示す。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 改革対象の機能がその他のプロセスであることを示す。
適用技術 対象案件がどの技術を使用しているかは一部推定を含む。 適用技術の解説は「3. 当事例集の対象範囲（3）対象として認識した新技術」参照	センサ、M2M、IoT	<ul style="list-style-type: none"> センサおよびセンサによって得た情報を自動的に他に転送する技術を示す。
	GPS	<ul style="list-style-type: none"> GPS技術を使用しているものを示す。
	ウェアラブル端末	<ul style="list-style-type: none"> ウェアラブルの形態をとっているものを示す。
	無線技術	<ul style="list-style-type: none"> 無線技術を使用しているものを示す。
	ロボット	<ul style="list-style-type: none"> 自動処理機能を持つ機器を含む。
	モバイル（スマホ、タブレット）	<ul style="list-style-type: none"> タブレットもモバイル特性を持つものであり、同一欄で示した。
	SNS	<ul style="list-style-type: none"> SNS機能を活用するものを示す
	ビッグデータ	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ分析手法によらないデータ分析を行っている場合も同一欄で示した。
	AI	<ul style="list-style-type: none"> AI機能のランクは不問。
事例分類		<ul style="list-style-type: none"> 事例を表2のように分類しています。
内容		<ul style="list-style-type: none"> 事例の内容を簡潔に紹介している。 原則として、詳細紹介資料を添付している。



表 2

対象とした事業創造事例の分類

デジタル化にはこれだけのパターンがあるのです。全部で 40 分類。一部分を以下に表示

C. AI システム・デジタル化処理

#	入力	処理	出力
21	センサ、知識ベース	状況判断	メッセージ（診断）
23	センサ（家電）、知識ベース	状況判断	メッセージ
24	センサ、知識ベース	状況判断	アクション（ロボット）
25	センサ、知識ベース	画像認識	メッセージ
26	センサ、知識ベース	画像認識	ドキュメント
27	センサ、知識ベース	画像認識	アクション（ロボット）
28	センサ、GPS、知識ベース	画像認識	アクション（ドローン）
31	センサ（ウェアラブル） 知識ベース	状況判断	メッセージ（診断）
35	スマートグラス 知識ベース	QRコード読み取り	対象内容表示
36	スマートグラス 知識ベース	周囲読み取り	関連情報表示
41	入力データ（個別データ） 知識ベース 個人データ知識ベース	状況判断	メッセージ（診断）
42	SNS（個別データ） 知識ベース 個人データ知識ベース	状況判断	メッセージ（推薦）

D. 非AIシステム・デジタル化処理

非AIの事例が現実にはかなり多くあります！！

#	入力	処理	出力
51	既存データ	条件選択	自動処理（配信）
52	既存データ	共有化	データ共有
53	設計データ	連携	自動処理（3Dマシン）
54	スマホ・タブレット（現場配置） 既存データ	検索	情報共有
55	スマホ・タブレット・PC 一元化既存データ	検索	一元管理
56	スマホ	QRコード読み取り	自動処理（注文・決済）
57	スマホ	画像読み取り	自動処理（注文・決済）
60	スマホ	位置特定	メッセージ（販促、案内）
62	センサ（スマートウェア、錠剤）	状況把握	メッセージ

デジタル化事例集のご案内



表3 デジタル化事例集 サンプル GPS利用の場合

#	案件名	実施主体	事業創造パターン		対象事業	利用者		対象プロセス						適用技術										事例分類番号	内容			
			新ビジネス	新ビジネスモデル		法人	個人	企画管理	現状把握	判断	処置	情報提供	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
1	機械稼働管理システム KOMTRAX	小松製作所		○	建設・工事	○			○	○		○	○														63	建設機械にセンサーを組み込み、保守サービスを高度化
2	無人ダンプトラック運行システム	小松製作所		○	建設・工事	○			○	○		○	○														68	大規模鉱山で利用
49	ぜん息患者向けシステム	米アズマボリス	○		介護医療		○		○	○		○	○	○													62	GPSを内蔵した小さなキャップのような装置をぜん息患者が携帯する吸入器に取り付け、どこでぜん息発作が起きるかを把握分析する。その場所を避けるようにする。
50	認知症患者フォロシステム(屋外)	米ベガ・エバロン	○		介護医療		○		○	○		○	○	○													63	「安全区域」を設定し、認知症患者が1人で自由に歩き回れるようにする。外に出ると警報が通知される。
62	痴漢を防ぐブラ	インド	○		生活		○					○	○	○													65	携帯電話ネットワークを通じて当局に通報し、GPSが正確な位置を知らせる。

お問い合わせ システム企画研修(株)

電話：03-5695-3130 mind-pc@newspt.co.jp <http://www.newspt.co.jp>

